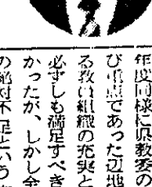
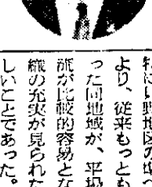
学校教職員の人事異動

田沢小、貝野小学校長替る



【伊藤田沢小校長】



【村山貝野小校長】

昭和三十八年度末、三十九年度はじめにおける学校教職員の人事異動は、去る三月三十一日県教育委員会から発表されたが中里村でも四月一日付で転退職者二十九名、転職採用三名、新転入二十七名（清津峡小学校教諭一名未定）の異動がおこなわれた。

本年度の異動については、前年度同様に県教委の異動方針及び重点であった辺地学校における教員組織の充実という点では必ずしも満足すべきものではなかったが、しかし全県的に教員の絶対不足という実情としては、ある程度の要望が入れられ特に貝野地区の準へき地指定により、従来もっとも恵まれなかった同地域が、平均との人事交流が比較的容易となり、教員組織の充実が見られたことは喜ばしいことであった。

村内各学校における人事異動は次のとおり。

（転出）

▽田沢小学校

木下 正一（新井市郷津原小）
渡辺 春枝（柳尾市柳堀小）
関根 国生（北魚沼福山小）
宮川紀恵子（古志郡和平原小）
有本 玲子（南浦原中之島中）
貝沢 保子（退職）

▽高道山小学校

高橋 博子（岩船郡神納小）
井ノ川信一（退職）

▽倉俣小学校

金子 晋雄（津南町下船渡小）
関 ひとし（三条市三条小）
和田 タヅ（北魚沼須原小）
宮沢 忠義（退職）

▽貝野小学校

桑原清信（教育庁下越出張所）
小池 芳子（退職）
柱瀬智恵子（退職）
岡村 芳美（田沢小）
本宮 憲男（南魚沼三国小）

▽清津峡小学校

上原 健（退職）
西原 光亨（退職）
種崎カズエ（津南町上郷小）

▽田沢中学校

鈴木 慶彦（新採用）
伊比 寛子（新採用）
鈴木 晴夫（西浦原蒲小）
橋本 正衛（相崎市比角小）
村山 正衛（相崎市仙田小）
古沢カツエ（川西町中仙田小）
橋本 慶彦（新採用）
鈴木 慶彦（新採用）
津端和智子（新採用）

▽倉俣小学校

桑原 喬（吉志郡北倉小）
貝沼 正雄（北浦原駒林小）
山田ユキイ（相崎市大湯小）
横井 七保（新採用）

▽貝野小学校

村山 正衛（相崎市比角小）
橋本 晴夫（西浦原蒲小）
伊比 寛子（新採用）
鈴木 慶彦（西頸城名立小）

▽清津峡小学校

田髮アキ子（加茂市加茂小）
後藤 良江（退職）
関根 隆光（退職）

▽倉俣中学校

南 靖夫（三条市三条第二中）

▽貝野中学校

平沢 節子（西浦原味方中）
関根 隆光（退職）
保坂 義雄（十日町実業高校）
阿部 和孝（加茂市若宮中）
南雲 治彦（退職）

▽十日町高校田沢分校

高山光明（新潟市立工業高校）
野沢 節子（小出高校）

（転入）

▽田沢小学校

伊藤 義男（相崎市相崎小）
中村 昭（糸魚川市西海中）
斎藤 雪子（東頸城松代小）
斎藤 鶴蔵（新採用）
太田トヨ子（十日町市野中小）
岡村 芳美（貝野小）

▽高道山小学校

鈴木 慶彦（新採用）
津端和智子（新採用）

▽倉俣小学校

桑原 喬（吉志郡北倉小）
貝沼 正雄（北浦原駒林小）
山田ユキイ（相崎市大湯小）
横井 七保（新採用）

▽貝野小学校

村山 正衛（相崎市比角小）
橋本 晴夫（西浦原蒲小）
伊比 寛子（新採用）
鈴木 慶彦（西頸城名立小）

▽清津峡小学校

田髮アキ子（加茂市加茂小）
▽田沢中学校
山田 昭一（新採用）
今井 徹郎（新採用）
平方ハツ子（岩船郡大川谷小）
広瀬 敬蔵（津南町上郷中）

▽倉俣中学校

斎藤 一英（西浦原味方中）
和田 正夫（小千谷市吉谷中）

▽貝野中学校

磯部 晴夫（北浦原蒲鉾中）
島山 獲（北浦原木崎中）
古田島裕豊（北魚沼湯之又小）

▽十日町高校田沢分校

河沼 久夫（新採用）
徳永憲嘉江（新採用）

就任の御挨拶

田沢小学校長 伊藤義男

この度、田沢小学校長を拝命し、五日着任いたしました。水は清く、山は美しく人情こまやかなこの地に赴任し私は本当に有難く思っています。

「教えるということよりも、もっともっと大事なものをお預りしている」のが、私達の務めであると、永く教職にあった母から訓えられていました。

今、このことを深く思い出しています。つぶらな瞳、ピチピチしている子供の姿。そして一日も一ときもやすみなく成長し続ける子供達。

その中で毎日を一緒に過して行ける。そのことだけの私達の生活、本当に楽しいことです。

「まず児童」という学校の教育目標。

私はここに来て教員間で田沢小学校の輝かしい伝統や、地域の方々のたゆみない愛校心をじーんと強く感じました。

校庭の吉野桜が春を告げ、噴水の水は高く、やがて緑の芝生が眼にしみる日も間近い事でありましょう。その庭園の一本一石も子供達と先生方の汗から生まれ、地域の方々の「明るい環境の中で子供達を育てたい。」という願いの結集であると拝聞きし、私はこの教育に対する任務の重大さを感ずるものです。

微力なものですが、心を新にして一日も早く地域の方々のお仲間入りをさせて頂き、毎日を大事に過して行きたいと思います。

幸い前任の木下校長先生の大きな業績が創立九十周年への道を開き、白岩教頭先生はじめ若い立派な先生方の意気ごみに旺んで、学校も新年度の計画が軌道にのったようです。

本当に有難いことです。よろしくお願いいたします。

惜別の感懐

県教育庁下越出張所 管理主事 桑原清信

水清きまゝ、山美しきまゝ保存したいのは人情の常であろう。それが思案得ない百人為的に制度を設けてあえて国立自然公園地区を指定している。

人情、民心、生活においてこのような人為的な制度で特定地区だけ残すことはできない社会のきびしさは、お互に知りぬいている。人の世に於いてはその地域に住む人が互いに励ましあって、人情、民心、生活を不断に創造して行かねばならない。

外部からの枠などではどうにもならない。美しい人心を不断に創造して行く任務が教育であることは私が申すまでもないことです。

土になじみ子等と共によろこび、子等と共にうれい、生活するようこび生活目標は他のどの産業部門にたずさわる人も味い得ない楽しさです。墓を背負って働きましょうと新任の先生方を代表してあいさつした私が、

（二面へ）

なかさと

毎月一回 15日
定価 一部 5円
発行所 中里村公民館

現在人口
男 4,481
女 4,508
計 8,989
世帯数 1,712

〈回想〉清津川総合開発

富井喜重

当面山麓段丘地の開発が遅れた原因について、先日ある新聞に、戦後食糧事情の悪化に伴い、国策として段丘地開墾が推進されたものであって、先見の明に乏しい指導者、地主が開墾に反対し、国の土地買収に抵抗が試みられたために時期的にも計画が遅々として進まなかったことにあると掲載されあったが、私はこれは極めて皮相な観察であり、当時何の関係もなかった縁なき衆生が今日の段階で観察批評するとすればムリもない話だと思った。

この段丘地の開発が遅れた最大の原因は戦争にあると私は断言する。開発の運動を始めた時期が悪かった。有史以来二千六百年の光輝ある日本帝国が有りったけの力を出し切ろうとするときであり、又一瞬にして崩壊し去ろうとする激動期にあっては国土開発事業も戦局の推移によって変転するも致方ないことであった。この開拓も終戦間際には学徒勤労隊によって開墾が行なわれ、ソバを蒔いたが種子の量のほども獲れなくて泣れとも笑いともつかぬ話しをきかされたものである。津南開拓は立上りの時期を当てたと思う。敗戦後の立直りは先ず食糧の確保からと、それこそ老幼男女国民一体となって国の隅々まで余所なく開墾に精を出したときであったから、国の方針もほぼ決まり、住民輿論の結果も比較的容易に出来たものであろう。

ここで戦争のことに少しふれる。昭和の初期に生れた人達は小学校在学中に強制的に志願兵にとられたり、食糧不足で飢まず食わずの状態におかれ子供ながらもよくよく身にしみて感じているであろうが、終戦前後に生れて反抗期には親に盾つき、何事にも一理屈こねたい年頃の者には戦中戦後の苦しみはわからないだろう。そして占領政策の中、自分達に都合のよい部分だけを吸収して育ってきたようである。あの当時のことは今ではっきり憶い起すことである。昭和十二年七月七日北支那盧溝橋で日本と支那の軍隊が衝突した。北支事変と称して当時日本は不拡大方針を宣明したにもかかわらずこれとはうらはらに戦線は拡大される一方でがやがて支那事変と改められて次々と人馬の動員が行なわれた。昭和十六年十二月八日ハワイ真珠湾の攻撃が行なわれ大東亜戦争となりイタリヤとドイツを除く殆んど全世界を相手とした大戦争をおっぱじめ国運を賭ける破目となった。緒戦においては小戦殿金勝まさに敵竹の勢いであったが、科学と物量の優位には抗すべくもなく追に戦局は劣勢を余儀なくされて、昭和十八年五月十六日から三十日にかけて北海アッツ島の矢頃が報導され、十九年六月には南海サイパン島が陥落した。やがて日本の敗色が濃くなり二十年一月には硫黄島に米軍が侵攻し三月八日には摺鉢山の日本軍拠点全滅の悲報が伝わり日本の敗戦が決定的となった。このように日本帝国の最頂期から衰落期にかけて国策の動揺は止むを得なかったであろう。ここにおいて段丘地の開墾もこの波に乗せられ、国の方針が変わる度に個々の利害や考え方も遠って来て、住民は開墾問題に飽きが来、嫌気もさし、国や県に不信の念を抱くようになったのも無理からぬことであろう。次号から開拓方式の移り変りを具体的にしたい。

——お知らせ——

公民館事務室、図書室

二階に移転

公民館では、このほど事務室及び図書室を役場分室（役場前教育委員会事務局）の二階に移しましたので、係職員に用の場合、図書やその他備品などを借りたいとき又は、小集会（二十人ぐらいの会議等）で公民館を利用したい際には、どうぞ気軽にご来館下さい。

なお、電話は田沢局二三〇番（役場交換台）の内線をご利用下さい。但し昼食休み又は時間外の場合は、田沢局二一八番（教委事務局）を利用下さい。

みんなで花を咲かせましょう

本屋敷 柳春

十二線が開通すれば東京へ日帰りに行ってこられるときき、まことにけっこうなことだとおもう。そうなるまでにこの中里村にもなにか特産物がほしいものだ。いまのところ一ばん大きなしているのは杉苗だとおもう。近頃はコンニャク、葉タバコ、養豚、養鶏、肥育牛などと多種多様。しかしどれをやるにも重労働で年寄や女子供では無理だ。花づくりならたのしみながら楽に出来る仕事だと思うので、これを村中に普及しみんなで研究して「花のなかさと」といわれるようにしたいものだ。

私は五、六年前から各種の花をつくっている。先年、上村病院が貝野へ出張診療のとき桔梗が見事に咲いたので持参したところ保健婦さんがとても上手に活けて診療室に飾ってくれた。そのとき促健婦さんから東田尻の桑原英与利さんという人がたくさん桔梗を作っているとおしえてくれたので、是非訪ねて見たいとおもっていたが、七月の下旬、村の老人たちと小出の湯へ行くことになり、その途中桑原さん方に立寄った。新築したばかりの立派な家の構えなので一寸たじろんだが奥さんに桔梗の花づくりについてお話をおききしたいと挨拶し家の中へ入れてもらった。家の中には活けの桔梗が山のように積まれており、奥さんは花頭を揃え根元を切り捨て二十本宛束ね五束を新聞紙に包む。それが終ると紙で編んだ箱にくるんで荷札をつける。バス便で山崎へ出すと長岡の常便トラックが問屋に送ってくれるのだそうだ。花は一つ咲いたのを切るので朝は早い。その日は六百本切ってきたが、二時作って夜の間に三万円ぐらい収穫する。一度植えれば毎年咲き、労力をかけないで小使取できるという。

「忙しいところお邪魔しました」とバス停留所へきたがいつまで待ってもこない。かたわらで仕事をしていた大工さんにきいてみたらもう行きましたよという。これは残念、次のバスは一時二十分、まだ二時間もある。人家のないところで待つのも辛い。昼食もとらなければならないがお茶がなければむすびも食えない。喉につかえたら困る。また原かましくも桑原さん方に戻って昼寝を頂う。こんどはご主人も山から帰ってきており、茶の間いっぱいに桑をひろげ上半身裸になって給桑にけんめいだ。「これははじめまして」と挨拶したら「いま家内が居の仕度をしますから一寸休んでいて下さい」とまた蚕室へ入っていった。私も上らせていただいて蚕を見る。しばらくしてお居の仕度が出きてご主人は仕事をやめ私を案内して蚕室に入る。新築したばかりで木の香も匂う文化的な実に明るい蚕室であった。食事にすわると酒が出た。「いや私は酒は苦手で」もとより酒と女には太力があがらない方でと遠慮する。「まあ一献位いはよいでしょう」とすすめられる。酒の肴には頭があがらないし女の前には太力をもちあげるどころか自尻が下ってしまうなどと冗談をいって爆笑する。酒肴にはマタタビの漬物、これは珍しいものと沢山ごちそうになる。さてこんどはバスに乗り遅れないようとおもい、忙しいところへお邪魔しましたと挨拶し、貝野の方へ来たときは是非寄って下さい。学校のすぐそばですと別れを告げ桑原さん方を立去った。（以下次号筆者は明治三二年生れ）

なかさと文芸

―四月投句―

露丘

春風未完のビルが蜃ふらす　大泉
冒険げの川に果子を取られけり　土牛
春の街に鯉売る老婆居眠りて　天来子
風も雲も舞いて嘆し土手の野火　露丘
春雨の魚灰となりて築地河岸　大泉
病む青子の窓辺の朝解きにけり　花華
大都市のほこりぐもりやいかの　露丘
ほり
駅小さく旅も終りて水温む　天来子
老妻もなにかぐわし春の宵

肥育牛の多頭飼育

七ケタ農業の実現

白羽毛 樋口新吉氏

当地帯の山村でも、なんとか七ケタ農業を実現したいとの念願から、水稲、蚕産、養蚕を経営の基幹とした経営形態を検討、昨年和牛肥育の多頭飼育にふみきった。

経営の概況は、水田一五〇アール、普通畑五〇アール、桑園四〇アール、和牛肥育常時九頭（年間二〇頭内外の販売目標）で、農業従事者三人である。

和牛肥育部門は昨年八月、農業近代化資金の借り入れにより合理的肥育牛舎を新築、肥育を開始、平均肥育期間九〇日で八頭出荷の収支概要は次のようだ。

販売粗収入	九一五、八〇〇円
経営費（素牛費、飼料費、畜舎償却費、光熱費、保健衛生費など）	八五七、五〇〇円
差引所得	五八、三〇〇円

となり、一頭当り平均七、二九〇円の所得で一日当り労働報酬

一、三五二円となる。この販売のうち二頭は赤字となったので一頭当り所得は少ないが、初年度としては一応、よい成績をおさめたと云ってよいのではないかと思われる。この成績、経験から、肉牛肥育部門の年間所得二十万円前後を目標としている

以上新しく取り入れた和牛肥育部門の成績を上げてみたが、樋口さんの年間農業所得の概算、目標は次の通りとなる。

水稲	三五〇、〇〇〇円
畜産	二〇〇、〇〇〇円
養蚕	一三〇、〇〇〇円
合計	六十八万円内外位が今年より見込まれるようだ。粗収入は勿論百万以上となる。

今年は長男源利さんが農業高校を卒業し、親子三人で当地に於ける新しい農業形態をうちたてるべく意欲を燃やしている。

【写真は樋口さんの畜舎にて】

施設の災害について

毎年融雪時には災害が多発しがちですが、災害復旧事業には一定額以上の事業費に対して、国、県の補助が行われておりますので、災害を発見しましたら直ちに次のことを確かめたうえ、役場建設課へ通知（文書、電話いずれも可）下さい。

一、施設災害の種類

イ、公共施設災害

国、県、村道、橋梁、河川護岸、学校等

ロ、農林水産業施設災害

農地、農道、水路、頭首工、溜池、林道、牧道、農業倉庫、木炭倉庫、共同作業場、その他関係施設

二、補助災害復旧事業の範囲

イ、公共施設災害、災害規模及び復旧事業費の多少にかかわらず報告下さい

ロ、農林水産業施設災害

①一ヵ所（災害ヵ所間隔五十メートル以内であれば同一ヵ所として扱う）の復旧事業費が五万円以上見込まれるもの

②異常な天然現象（例、一日八十ミリ以上の降雨量）で当年発生した災害であること

③維持管理、設計の上のミス復旧効果の小さいものは除かれます

④補助率は工種により二十五～六十五％です

三、報告事項

イ、災害の発生年月日、施設の種類、所在地、数量、復旧予定事業費

ロ、応急工事等で後で被害が確認出来なくなる場合は着工前の被害写真を撮って下さい

四、その他

イ、補助事業で復旧する場合は建設課に相談下さい

ロ、維持管理、応急工事を直ちに行うことによって災害を最小限に喰止めるようにしましょう

春先の防犯に協力を

――十日町警察署――

雪に埋もれた、ながい冬の生活からの開放感は、雪国の人ならでは味わいない気持ですが、とかく気のゆるみから不幸な災害や事故、又は犯罪などが起りやすいのもこの季節です。明るくしあわせな社会を築くために地域ぐるみの事故防止、防犯活動にご協力下さい。

十日町警察署では今月は次の事項に重点を置き協力をよびかけています。

①暴力団事犯の一掃

被害者の早期届出励行。暴力排除気運の醸成

②列車妨害事犯の防止

鉄道線路への立入り防止。線路周辺における妨害物件の除去。

③行楽期における防犯

アキ巣、スリ等の防止。めいてい者等による粗暴犯の防止

④歓送迎の際の雑踏事故の防止

雑踏するときの用心（歓送迎線をくずさないこと。前に出ようとして押し合わないこと。子供や老人は前に出してやる。団体は引率者の指示に従うこと。カメラを扱う者は勝手に列をみださぬこと。）

⑤春山登山の遭難事故防止

気象にはいつも注意すること。ナダレにも細心の注意。

⑥交通安全興民総ぐるみ運動の推進

⑦団体に伴なう交通規制

⑧新入学児童の交通事故防止

特に歩行者の交通道徳の高揚

自衛官募集!!

防衛庁では、わが国の平和と独立を守り、たくましい心と技術を練成し、安定した生活と将来への飛躍のために、陸海空の自衛官を次の要領で募集しています。

▽採用

二等陸士　約五、〇〇〇人

二等海士約二〇〇人

二等空士　約一、一〇〇人

公募資格

十八才以上二十五才未満の日本国籍を有する男子。学歴不問。

▽受付

五月三一一日まで。町村役場及び自衛隊地方連絡部で受付けています。

▽志願手続

役場又は地方連絡部から志願票を受け取り記入のうえ届けて下さい。

▽試験

試験場及期日等は役場に問合わせて下さい。受験日は本人宛通知します。試験科目は簡単な学科試験、口述試験、身体検査で一日で終ります。

▽合格と入隊

採用通知は入隊の十日前までに到着します。不合格の場合は通知しません。入隊は本人の居住地に近い教育隊に入隊します。入隊の際もう一度身体検査を行ない異常のある場合は不合格となります。入隊当時は当分の小づかいとして千円ぐらいあればけっこうです。

役場新規職員採用

中里村役場では四月一日付で次の通り新規職員を採用した。

栄養士　佐藤　伸（二一）

保母　小林　ユリ（二〇）

建設課雇　冨井　正市（二七）

〃　樋口　寿次（二五）

行政課雇　広田　敬子（一九）

なお退職者は次の通り。

産業課書記　上原　秀子

行政課書記　福島　秀子

なお、詳細は役場へお問合わせ下さい。

（行政課）

（一面より）

わずか二年でこの地を去らねばならない事態は怒りを感じないではいられません。地域の方々にはまことに申しわけない気持で一ぱいです。

愛用したバイクにまたがって去る折の感懐を呼んだものは、いつもつぶらに澄んだ子等の瞳です。

人気なき校舎に向きてさようならとつぶやきもえせず胸のせまりて

石をもて追われし人の思い出す子等にそむきて離り翔けるはひえひえとほゝうつ風に鏡中妻有の里の遠離行く

ふたとせの身のさいわいを貝野なる顧々に思いうかべつ

凧のしっぽ

公民館長　齋藤大馨

四月ともなれば、越路の地にも本格的な春の生気がみちてくる。花もそろそろ咲きはじめ、樹木も活動をはじめる。永い冬寒気の中で、耐え忍び、時節到来を待って居た万木であればこそ、我々にも不思議な歓喜を与えてくれるのではなかろうか。

此の時節になって、何時も思い出されるのは、子供の頃凧上げをしたことである。今はあまり見うけられないが、田園の大空を漫歩する凧を見ると、実に快活な気分がする。凧あげといえば、思い出す話がある。

第二次世界大戦がすんで、軍部より勇退したマーシャル将軍が、ある日、奥さんと週末旅行に出かけた時のことであったそうだ。たまたま庁の上に老夫妻が立って、空を仰ぐと凧があがっている。老妻はいう「あなたと、わたしとの関係は、ちょうどあの凧と、しっぽのようですわ。あなたの行くところに、わたしはいつもお供をするしっぽみたいね」と感懐をこめていった。これに対し「凧にとって大切なのは、しっぽなのだよ。重すぎると凧は落ちるし、軽すぎると空高へ飛んで行ってしまう。ほんとうにしっぽは、凧にとって大切な存在なのだ」とマーシャル将軍は答えている。そして老夫妻は、ともに手をたたいて笑いこけたということである。

まことに春にふさわしい、夫唱婦随の心あたたまる語らいでなかろうか。かめしめれば、はかみしめるほど滋味は深い。しっぽは重すぎると、凧主は悲歎会に入らねばならない。軽すぎると家庭がとても保てなくなるしっぽの「あるべきよう」はなかなかむづかしいことである。

その長さ重さは、一定の規格もない。凧の一つ一つについて「あるべきよう」が違う。またそれであればこそ、意味は深重でもある。近頃国をあげて、何なにづくりと言うのが叫ばれているが、青少年に対する大人の在り方は、さしあたり凧のしっぽである。ともすると「いまどきの凧（青年）を」云々しやすい。凧を論ずる以前に、しっぽの存在条件を反省して見る必要がある。

私共にありはしないだろうか。青少年補導の機関はいくつもあるが、先輩の大人自身が、よきしっぽであるのには、どうあるべきかを学ぶことも青少年に対するよきプレゼントである。

親の英智がPTAでとりあげられている。親の英智を平たくいえば一愛情と知性のバランスのとれた状態」ということになろう。これは凧のしっぽである。度の過ぎた愛情は、子供にとって重荷である。愛情と知性の均衡状態を、仏教では慈悲と呼んでいる。一月の成人の日頃だったかと思うが、村を歩いて居ると大空に安定せる凧を仰ぎ、しみじみとしっぽの苦労を有難く思ったことである。私達の村では昔様ぎ等の関係で成人式を、何時も雪消えを待ってするのだが今年もその日がまじかに迫って居るが「成人の日」とは大人が適今の若人を祝福する日に止めず、よきしっぽたるべき行願を確認する日であらしめたい。そこに大人の勉強もあり修業もあるのではなかろうか。

新生活来

樋口八重子　忠男　通り山
服部　和利　久一　田沢
田村　康子　晃　田中
川田　真澄　信明　阿寺
柳　和夫　善太　本屋敷
羽鳥みつえ　勝雄　新屋敷

◎高　砂

（新郎）樋口　亀一（三七）朴木沢
（新婦）藤井千代子（三四）上山
（新郎）高野虎治郎（三六）如来寺
（新婦）林　紀代子（三三）鹿児島
（新郎）井ノ川英夫（三七）如来寺
（新婦）喜多　ヒサ（三六）千日町

◎産　声

子のなまえ　父の名　住所
藤田　里美　義光　清出山
鈴木　弘子　実　置地
高橋　則子　重利　倉俣
吉楽　弘子　福市　上山
樋口まり美　正平　日羽毛
富井　登　政治　市之越
富井　登一　長太郎　市之越
富井　公一　公平　如来寺

（新郎）樋口　正芳（三六）千溝
（新婦）鈴木　福子（三三）重地

◎昇　天

氏名　年令　住所
斎藤　亀男（八二）倉俣
樋口　広定（八二）西田尻
小林　勇（四二）西方
樋口　キワ（八七）小原
広江　リン（七四）千溝
鈴木　ハル（八五）荒屋
上原作与利（七一）上山
大島　フサ（七一）山崎
徳井　三良（五九）寺沢

新生活のご挨拶

中里村栄養士　佐藤　伸

このたび私が村の栄養士としてご厄介になりました。

栄養士という名前をいただきましたが、この三月学校を卒業したばかりの未熟の者でございます。机上のことはともかく、現実の問題はこれから皆様と共に勉強して行きたいと思っております。

食生活は生命あるものに一日も休むことのできないものであり、これが生命の根源でありながらとかく惰性に流れやすく日本国民の食生活はお米偏重といわれています。この結果が種々の病気の原因となっていることも今では明らかになってまいりました。

「美食」のこと、美食即ち経済に関係するというふうに考えられがちになってしまって、改善の方向に進んで行かない点があります。

食生活の改善が必ずしも高価の食品をつかうことではないと思っています。一つの野菜も一寸した組合わせで充分に栄養が取れるものであります。

未熟な私にはこの仕事をどの程度やっていけるかどうかいささか不安ですが、樋熊さんの薬いて下さった後を引継ぎ一生懸命「健康な村づくり」に努力したいと思っています。

どうぞ皆様方の御指導と御協力をお願いいたしまして御挨拶にかえさせていただきます。

春の敬老会

五月上旬

役場公民館婦人会の共催で、恒例の敬老会を催すべく今年も計画をすすめていますが、時期は農繁期などを考慮して例年通り五月上旬に開く予定です。具体的な日どりについては近く関係者の間で相談し、決定次第該当者の方々にご案内いたしますから、おさそいあわせて是非お出下さるようお知らせします。

成人式

今年は六月下旬

公民館では、例年五月の初めに成人式を挙行してきましたが今年は講師等の都合により六月下旬頃（二十日過ぎ）に催す予定ております。

なお今年は、成人式にさきだち、三日間ぐらいの日程でよき社会人として出発してもらうために成人講座を開いて、該当者の皆様から受講していただく計画をたてております。成人式及び成人講座のご案内はいずれ該当者にお届けしますから、洩れなく参加下さるようお待ちいたしております。

今年度の成人式該当者は、昭和十八年一月一日から昭和十九年四月一日までに出生した人です。

越冬バエ捕殺

コンクール

4月15日～末日まで

例年実施してきました越冬バエ捕殺コンクールを、今年も四月十五日から三十日まで実施いたします。

一匹の越冬バエが十五億五千万匹に殖えるといわれていますので、是非この期間を通じて一匹残らず退治して下さい。

畜犬登録と狂犬病予防注射

公民館報三月号に、犬の放し飼いは絶対にしないよう飼犬取締条例の抜すいを掲載しましたが、このたび法律に基づき左記の日程により畜犬登録及び狂犬病予防注射を行いますので、飼犬者は必ず受けるようにして下さい。

◇日時、場所

四月二十二日午前十時～正午　中里村役場前

同日午後一時半～二時半　宮中神社前

四月三十日午前十時半～十一時半　清津峡小学校前

同日午後二時～三時　倉俣支所前

登録料　三百円

注射料　百八十円